

○議長（前原英石君） 4番 田村 馨君。

○4番（田村 馨君） 4番田村馨です。早速ではございますが、通告に従いまして、質問させていただきます。

最近喉の調子があまりよろしくなくて、ちょっとお聞き苦しい点があるかと思いますが、よろしくお願ひします。

まず、1問目は、本村における福祉灯油の実施についての質問であります。

さて、世界的な原油の高騰により、ガソリンや灯油の小売価格の上昇、そして食料品や日用品などの物価高など、影響が出ています。特に本格的な冬を目前にしての灯油の値上がりは大変切実でありまして、配達価格もアップしています。

さて、今年は暖冬傾向にあるとの予報がなされ、12月に入っても比較的暖かい日があるとはいえ、朝晩は大変冷え込みます。私のところにも、灯油を使いたいがやけど、ちょっと節約せんならんと。日中はなるべく灯油を使わんで、我慢しておると。風呂なんだけど、回数を減らしておると。そういうような切実な声が届いています。

そんな中、暖かく正月を迎えてもらおうと、福祉灯油を実施する自治体が全国的にも広がりつつあります。私ども日本共産党議員団でも、県内での福祉灯油の実施状況の把握に努めてはいますが、本村における福祉灯油の実施状況はどのようになっているのか伺います。

次は、グリーンリカバリーの推進について伺ってまいります。

さて、かつては環境か経済かという二項対立で捉えられていた環境問題でしたが、気候変動が要因と考えられる自然災害の多発や感染症の蔓延などの時代状況を考えると、もはや環境問題は経済発展と対極に存在するわけではなく、むしろ経済を維持していくためにクリアしなければならない必須命題と捉えるべき時代となってまいりました。

我が国においては、2050年温室効果ガス実質排出ゼロが宣言されました。舟橋村としても気候危機への対応について、改めて強い姿勢を示していくときではないかと考えます。

コロナ禍からの経済復興のための一つのキーワードとして「グリーンリカバリー」、これは訳して「緑の復興」という概念があります。グリーンリカバリーとは、これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄型の経済に復興するのではなく、これを機に脱炭素型の循環型社会をつくるために公共投資をしていくことで経済復興を果たそうという政策であります。

ご存じの方も多いかと思いますが、EU、ヨーロッパ諸国では、再生可能エネルギーの普及や電気自動車への転換、航空機から鉄道輸送への転換などのための巨額のインフラ支援などが実施され、脱炭素化を促進しています。

しかし、残念ながら我が国では、これまでの新型コロナ対策、経済再生のための補正予算などの内容を見ると、脱炭素化に向けたメニューは乏しいのが現状ではないでしょうか。

子どもや孫が生存できる環境をつないでいくための、最後にして最大のチャンスとしてこのコロナ禍を捉え、今後は再生可能エネルギーの拡大やZEH対策、森林対策、そして排出量取引制度の推進などにしっかり予算を充てていくことが求められます。

これらに積極的に取り組み、内外に対し明確な意思を示すため、渡辺村長には、ぜひ舟橋村として気候危機宣言、またはゼロカーボンシティ宣言を発出していただきたいと考えます。また、宣言を出すだけでなく、それらの実効性を担保するために、村の地球温暖化対策実行計画の策定も必要と考えられますが、このことについての村長のお考えをお伺いいたします。

○議長（前原英石君） 生活環境課長 田中 勝君。

○生活環境課長（田中 勝君） 4番田村議員の福祉灯油についてのご質問にお答えいたします。

福祉灯油は、灯油、ガス、電気など採暖に必要な費用の一部を支給する事業であると認識しており、北海道の各地で事業が展開されております。

本村での福祉灯油の実施については、現在のところ、予定はございません。

今年度も、国の電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を活用し、住民税非課税世帯1世帯当たり3万円を支給させていただきました。

今は、今議会で上程させていただいている住民税非課税世帯への1世帯当たり7万円の追加給付が速やかにかつ必要な世帯に支給できるよう努力してまいりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます、答弁とさせていただきます。

○議長（前原英石君） 村長 渡辺 光君。

○村長（渡辺 光君） 4番田村議員のご質問にお答えをさせていただきます。

今般、地球温暖化の影響により、地球規模においては年々平均気温が上昇しておる状況であります。この状況に対し何らかの手だてを行うことがなければ、現時点で東京の真夏日は年間46日ですが、21世紀末には年間約103日が真夏日になると言われて

おり、1年のうち3か月以上が真夏日になる未来が遠くないと言われております。

この危機的状況の中、国では2050年温室効果ガス実質排出ゼロが宣言され、富山県内においても、2023年9月29日時点において、舟橋村、入善町、黒部市、高岡市、砺波市を除く10市町が、2050年温室効果ガス実質排出ゼロに取り組む活動を表明しております。

当村においても、地球温暖化対策実行計画の策定の必要性は考えておりますが、いまだ、前段にございます温暖化対策実行計画策定業務ですら策定できていない状況であります。来年度において、まずはこの部分から策定し、基本計画を立てることを想定しております。

その上で、グリーンリカバリーの推進についてであります。欧米諸国などは国を挙げて脱炭素化を目指したインフラ投資に巨額の資金を上げており、日本と比べようがない額であります。

ただし、日本も脱炭素化を目指し、再生可能エネルギーに対する予算も計上しており、国のこれらの事業を活用し、村でも将来的には予算を計上し、住民に周知していくことは、今後検討を進めてまいりたいと考えております。

同時に意識啓発においては、大きな予算もかけずとも図れるものと考えております。まずは環境問題に対する正しい知識を持つことが重要であり、その点における住民の皆様への啓発活動、小中学校への環境問題についての学びなどを教育委員会とともに協議してつくってまいりたいと考えております。

議員各位におかれましては、以上ご理解を賜りますことをお願い申し上げ、答弁とさせていただきます。

○議長（前原英石君） 田村 馨君。

○4番（田村 馨君） 答弁、ありがとうございます。

まず最初に、福祉灯油の件についてお伺いします。

先ほども田中課長の答弁にもありましたとおり、この福祉灯油をはじめとした、いわゆる物価高の支援策等については、国のほうで特別交付税で措置をすると方向性が出ており、今回の議案のほうにも予算案として載っておるわけですが、やはり住民税の非課税の高齢者の方や障害者、あるいはひとり親世帯、生活保護世帯、まあ生活保護世帯の方は多分非常に少ないかとは思いますが、いわゆる生活困窮世帯の方に対して光熱費の援助など積極的な支援策を講じていただきたく思うんですが、改めて村独自とし

てこういった支援策というのを考えておられるのかどうか、ちょっと伺いたいと思います。

それと、気候変動、このグリーンリカバリーの推進について1つお伺いします。

先ほど村長の答弁にもありましたとおり、2023年の12月、今月現在、県内市町村でゼロカーボンシティの表明がなされているのは、私が調べた結果、12市町でございました。

中新川郡においては、立山町が2020年の10月、上市町が2022年の12月にそれぞれゼロカーボンシティを表明されております。

本村では、来年以降ですか、地球温暖化対策の実行計画というのを策定されるということでありましたが、答えられる限りでよろしいので、どのような内容となるのかちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（前原英石君） 生活環境課長 田中 勝君。

○生活環境課長（田中 勝君） 田村議員さんの再質問にお答えいたします。

福祉灯油などの支援策についてでございますが、今後、社会福祉協議会等とまた協議させていただいて、どのような支援ができるかは検討してまいりたいと思います。

以上であります。

○議長（前原英石君） 村長 渡辺 光君。

○村長（渡辺 光君） 4番田村議員のご質問にお答えをさせていただきます。

今ほど申し上げました温暖化対策実行計画策定業務がこういったものになるかというご質問かなというふうに受け止めましたが、こちら当局側の脱炭素に向けての取組をどのように進めていくか、どういった指標を定めるか、その前段に舟橋村村内の二酸化炭素の排出量等を調査をいたしまして、どのように進めていくかという基本的な計画を策定するということを、令和6年度、進めてまいりたいというふうに考えております。

それを受けて、実施の計画が次いで出来上がっていくという認識でございますので、あくまでも基本的な部分の計画を策定するということをご理解いただければと思います。

○議長（前原英石君） 田村 馨君。

○4番（田村 馨君） 答弁、ありがとうございます。

さて、この温暖化の問題なんですけど、近年、地球、この温暖化の原因とされる気候変動の影響によりまして、世界中で甚大な自然災害が頻発しております。また、国内にお

いても異常気象に見舞われるなど、住民生活にも大変、これ、大きな影響が及んでおります。

地球温暖化対策のこの計画の策定、そしてまた国の補助金なんかも活用しながら、DXやSDGsとも絡めながら、カーボンニュートラルを舟橋村としても強力に進めていただきたいと思います。

また、福祉灯油等々の物価高対策についてなんですが、今後、とりわけ寒さが厳しい冬を迎えます。全ての住民が暖かく過ごすことができるように、そして無事に正月を迎えていただけるように、ぜひ実施をまた今後とも検討していただきたいと思います。

それでは、私からの質問を終わります。